

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】 平成 23 年度

事業所番号	2770900856		
法人名	医療法人 杏仁会		
事業所名	グループホームブルーベリー		
所在地	大阪府高槻市東和町57-1		
自己評価作成日	平成 23年 5月 30日	評価結果市町村受理日	平成 23年 8月 25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・法人全体との連携により充実した支援体制が確立されている点 ・ホーム独自の個性豊かな季節感あふれる催しを毎年度企画し実施出来ている事

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.osaka-fine-kohyo-c.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2770900856&SCD=320
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人大阪府社会福祉協議会 福祉サービス第三者評価センター		
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1-54 大阪社会福祉指導センター内		
訪問調査日	平成 23年 6月 20日		

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

医療法人が運営する1ユニットのグループホームで、老人保健施設、通所リハビリ、地域包括支援センター、住宅型有料ホームなどが隣接しています。本年度より、同敷地内に系列の社会福祉法人が保育園を開設し、包括的な地域福祉の拠点となりました。グループホームもその一つに位置付けられ、他機関との連携を図りながら支援をしています。民生委員や小・中学校、自治会など、地域との交流が活発です。また、ホームの庭にも園児や親が訪れ、多世代の地域交流の機会が増えました。この1年の取り組みとして、市への働きかけにより「認知症支援連絡会」が発足し、市内のグループホームとの交流を図る機会ができました。ホームは、敷地内にハーブ園や田畑があり、自然に恵まれた環境です。畑で栽培したやキュウリやトマトなどの収穫は利用者の楽しみに繋がっています。利用者は、日課の体操やテレビ鑑賞、編み物や折り紙などの趣味活動に取り組み、一人ひとりが自由に暮らしています。また、隣接する施設行事への参加、近隣の公園やスーパーへの食材の買い出しなど、地域に出かけています。家族会もあり、ホームへの要望等を話し合う機会もあります。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人理念「輝いて共に生きる」の理念を元に、ホームでは「ゆっくり」「一緒に」「楽しむ」を事業所理念として掲げ、日々のケアに取り組んでいる。	ホームの理念は、法人の理念「輝いて共に生きる」を基に職員で話し合い掲げました。理念は、利用者、職員の日につくところに掲示しています。毎年、理事長の訓示があり、理念を職員間で共有しています。法人の理念をより具体化するために、共に生活をするグループホームでは「ゆっくり」「一緒に」「楽しむ」を目指し、日々のケアに活かしています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	日常的に近隣のスーパーへ買い物や散髪に出掛けたり、近所の公園に散歩に行く等、地域住民との交流の機会をより多く持つ事ができるよう心掛け実効している。 地域の小中学校の体育祭、文化祭等へも出向き、積極的に交流の機会を持っている。	小中学校の体育祭、地域の盆踊りや夏祭りなどへの参加、毎日の近隣スーパーへの買い物や公園への散歩など、地域と繋がりがあります。また、グループホームの庭が近隣保育園の散歩コースになっています。系列法人の保育園も4月に開園し、園児や親との日常的な交流が始まりました。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を地域の人々に向けて活かしている	地域の盆踊りや夏祭りに、職員、入居者共に参加し、法人で実施している祭りには地域の方々にも参加してもらう等、認知症の人々についての理解や支援を、より深めてもらえるよう努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年に2回は家族会終了後の開催を設定する事により、入居者家族全員の参加による会議が実施出来ている。 主治 Dr・Ns 等ホームに関わる多職種を交えたコミュニケーションの場が持っている。	運営推進会議は、市の職員、地域包括支援センターの職員、民生委員、家族、利用者、医師が参加し、2カ月に1回偶数月に開催しています。参加メンバーは固定しておらず、消防署員が参加したこともあります。また、家族会の日程を運営推進会議に合わせることで、家族が全員参加できるよう工夫しています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村で開催される研修会、講習会等へは積極的に参加している。 運営推進会議へも参加して頂いている。	市の職員は、運営推進会議へ参加しており、日常的にも交流を図っています。兼ねてから要望していた市内グループホームのネットワークが、今年から「認知症支援連絡会」として発足しました。連絡会ができたことで、グループホーム間の情報交換が始まりました。また、市の主催する「感染症・食中毒予防」の研修会に積極的に参加しています。市への事故報告については、必要に応じて迅速に対応しています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>当ホームでは、日中施錠は行っておらず、面会者の出入りも自由である。ホーム設立から現在に至るまで身体拘束の例はなく、職員全員禁止行為であることも熟知している。</p>	<p>「身体拘束」「高齢者虐待防止」のマニュアルを作成しています。入職時や随時の職員研修を実施し、「身体拘束をしないケア」「言葉遣い」の研修などを実施しています。日中玄関は開錠しており、家族からも喜ばれています。自立度の高い利用者が多く、外出時には職員に声をかけ、また職員が様子を観察し、外出したい様子があればさりげなく声をかけ一緒に出かけています。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>高齢者虐待については、職員全てが研修を受け理解しており、常に入居者を取り巻く人間関係においても注意を払い、防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>定期的な勉強会の実施により、必要な方へ支援可能な状況である。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前の事前見学・説明等において十分な理解と納得を得た後の契約締結を実施している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム玄関に意見箱を設置している。市の介護相談員の受け入れも月2回行っており、ご指導、意見等も運営に反映させている。	玄関に意見箱を設置していますが、意見が入ることはありません。家族会があり「家族とのカンファレンス日」を設定し、要望や意見を聞くために半年に1回開催しています。出された意見は、職員会議で話し合わせ、ケアに活かしています。家族からの要望として「日課を決めてほしい」「役割を持たせてほしい」などの意見が出され、取り組みました。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的にミーティング・ケアプラン会議を行っており、職員全員の意見や提案、気づき等、十分に検討した後、運営に反映させている。	管理者は、会議で職員が発言しやすいよう毎回課題を掲げ、全員が自由に意見を述べたり、提案ができるよう工夫しています。利用者の入居については、管理者が独自で決定するのではなく、職員にも相談しています。また、事業所内の異動等についても、職員の意見を聞くようにしています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回個人別評価を行い、個々の意見等を吸い上げ、働きやすい環境作りに努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	常勤、非常勤を問わず法人内での定期的な勉強会へ参加している。 法人外研修へも積極的に参加しており、研修受講者による報告会も行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	認知症支援連絡会に参加。 地域包括支援センター、グループホーム、病院等との交流の機会を持っている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前のホーム見学、本人面談時に十分なコミュニケーションの機会を設け、入所に向けての理解を得られる様、努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所申込時、ホーム見学説明と共に、家族からの入所に対する心情等時間をかけての聞き取りに努め、双方の信頼関係の構築を心掛けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所面談時において、まず本人・家族の意見、相談、悩み等、現在の状況を十分に傾聴した後、支援の方向付けを行う様、努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者個々の嗜好や得意な分野(料理・掃除・読書・折り紙等)を考慮し、職員と共に協働しながら共に支えあえる関係を構築している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族間との意見交換は日常的に充分、行っている。 催し事、レクリエーション、外出等にも出来る限り参加してもらいながら、支援のあり方についても共に支えあえる関係を築ける様、努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者のこれまでの人間関係が継続できる様、友人、知人も気軽に来所してもらっている。	入居前から利用している美容院や公園への散歩、スーパーへの買い物など地域の馴染みの場所へ外出し、地域との関係を継続しています。ホームへの訪問は自由ですが、事前に電話等の連絡は必要です。家族以外に友人や親戚が来訪しています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者個々の個性、人格を常に尊重し、利用者同士が支えあい、良好な人間関係が保てる様、支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	法人、又は当事業所内の催し時にはDM 発送等による関係性の維持にも努めながら、サービス終了した後の相談も受け付けている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者、家族共に日々のコミュニケーションの中から、暮らし方、要望等を把握できる様、心掛けている。 そして出来る限り、意向に沿える支援が出来る様、検討し実践している。	『暮らしの情報シート』に利用者一人ひとりの希望を聞き取り、記録に残しています。また、家族会も定期的に行われており、家族を交えて利用者の思いを検討しています。情報として得られた洋裁、花の水やり、折り紙、編み物、園芸、ぬり絵などを職員間で共有しています。職員は利用者の個性を大切にしています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居者一人ひとりの生活歴、馴染みの暮らし方等の情報を本人、家族、関係者より傾聴し支援に反映させる様、努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎朝のバイタル測定や定期的な体重測定の実施により健康状態に留意した上での個人の意思、個性を尊重したライフスタイルの確立を目指している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	設定期間経過後の見直しはもとより、本人、家族からの意見・要望や職員の日常的な気づき等も反映させた介護計画の作成実践に努めている。	6か月に1回、また状態の変更時には介護計画の見直しを行っています。利用者や家族から「コンタクトレポート」を活用して情報収集し、嗜好や趣味、生活歴の把握を行っています。また、日常の会話からも情報収集し、職員・利用者が一緒に計画を作成しています。また、目標に沿って毎月利用者の様子や家族からの意見を聞き、記録に残しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の介護記録の記入と朝・夕の申し送りの実施。 申し送りノートの活用にて職員全員が情報を常に共有出来る様に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医療連携体制加算、月2回の往診等、健康管理の面において医療活用の強化を図っている。 必要に応じては、提供している歯科医院Drの往診もある。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人は心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	年2回の消防訓練への参加。 イベント等を通じての、地域住民、ボランティアの方々との交流の機会を持っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の往診にて日常の健康管理を行っている。 必要に応じては、家族の理解、協力の基、かかりつけ医への定期受診、検査等を受けてもらう様、支援している。	入居後も利用者、家族が希望する医療機関に継続して受診できることを説明しています。受診時は家族の介助を基本としていますが、心身状態など医療との連携が必要な場合は、職員が対応しています。法人クリニックが隣接しており、24時間、緊急時の対応も可能です。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員を配置し日々の健康管理に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	月2回の往診による主治医の確立によって病院関係者とも十分に連携出来ている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医・Ns・家族との話し合いも行い、お互いに今後の方針について共有出来ている。	ホームの設備の問題もあり、重度化した場合や終末期の支援は実施していない状況です。入居時に、ホームのできる可能な範囲について説明を行い、重介護になった場合への支援として、同法人内のサービスや他機関の情報を提供し、適宜相談に応じています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	法人全体での定期的な勉強会、模擬訓練を行っている為、実践にも十分に活かされている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	昼間、夜間想定避難訓練を年2回消防署の協力を得て実施している。近隣の自治会への災害時の協力依頼も実施している。	毎年防災計画を作成しています。消防署と連携をとり、年2回の夜間を想定した避難訓練を実施しています。施設や近隣の自治会の協力も得られる体制ができています。食料や水の備蓄、排泄や寒さへの対応として、毛布などの準備もしています。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	法人による勉強会等を通じて個人情報保護法の理解に努め、秘密保持の徹底を図っている。接遇についても、法人入職時のオリエンテーションや法人内研修・勉強会にて学び熟知している。	入職時に、法人全体で個人情報保護や倫理の研修会を実施しています。また、定期的に言葉遣いや身だしなみ、挨拶、傾聴など、接遇についての研修を行いケアに活かしています。長期的に入居する利用者が多く、職員は、慣れ合いにならないように意識し、職員間でお互いに注意し合いながら、尊敬の念を持って接するように意識しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者個々の意見(献立・レクリエーション・外出等)を十分に傾聴し、自己決定を促し生活や支援に活用している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホーム全体が、その人がその人らしい生活をマイペースで過ごしていける様、支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	希望による理美容院利用の為の支援や、必要な物(下着・洋服・化粧品等)の購入に対する支援を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	スーパーへの買い物に入居者同行で、出来るだけ出かける様に心掛けている。 季節感のあるバランスの良い食事を提供出来る様、努力している。 調理、盛り付け、片付けは共に行い、食事を楽しめる様に支援している。	昼食は日中活動を優先するため、同法人施設の厨房からの配食を受けています。朝食や夕食は、毎日食材の買い出しから調理まで行っています。衛生面から、利用者は直接調理をしていますが、盛り付けや配膳、下膳、食器洗い、テーブル拭きなど、できることで食事の過程に参加しています。食事は元板前だった職員が調理に加わることにより、メニューが更に豊富になり、凝った料理を提供できるようになりました。また盛り付けは見た目にも美しく、利用者に喜ばれています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量の調整(個人)、水分摂取量、排尿、排便回数、すべて日々記録している。 体重測定も週に1回実施している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケア。 イソジンによる含嗽。 必要に応じて歯科往診有。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個人個人に応じた排泄介助・誘導に心掛け、声掛けや見守りも実施している。	排泄チェック表を作成し、時間誘導を行うことで、トイレでの自立を支援しています。一人ひとりに合わせた紙パンツやパッドを利用しています。衛生面にも配慮し、パッド等毎日交換を促しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	適度な運動(体操・散歩)。 十分な水分補給。 バランスの良い食生活。 日々の排便チェック。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	日中は活動(散歩・買い物・レクリエーション)優先であるため、入浴は夜19時以降に設定。 基本的には曜日設定があるが、本人の希望、必要に応じての対応もしている。各自ゆっくりと入浴出来る様に支援している。	入浴は週3回を基本とし、希望により毎日でも可能です。利用者は自立度が高く、見守りや声かけでの入浴が可能です。利用者の生活習慣を重視し、一人ひとりの希望に応じた入浴を支援しています。日中の活動を確保するために職員の勤務を工夫し、夜間の入浴が確保できています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している	起床・就寝時間共に個人のペース に じている。 日中においても自由に休息したり、 昼寝してもらうよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について 理解しており、服薬の支援と症 状の変化の確認に努めている	往診時、Drより説明有。 各個人のお薬情報による理解。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている	日常生活においての各自の役割 の確立や、ディスプレイ制作への 参加により、その人らしい生活 を過ごす事の出来る様、支援し ている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。又、普段は 行けないような場所でも、本人 の希望を把握し、家族や地域の 人々と協力しながら出かけられ るよう支援している	当日の天候、入居者の体調に充 分に配慮した上で遠距離への散 歩、買い物に出掛けている。 年間行事として外食や花見、他 市の庭園等への外出も行ってい る。	利用者と共に毎日の朝食、夕食 の買い出しに近隣のスーパーへ 出かけています。また、地域の 美容院や公園など、天気の良 い日にはできるだけ外に出か けています。外出を好まない利 用者に対しては、隣接する老健 施設のデイケアや、施設での催 しへの参加を促しています。ホ ームの玄関先は、芝生、ハーブ 園や畑があり、日常的に外気に 触れ、近隣の園児と触れ合う 機会に恵まれています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物外出時、職員が同行し入居者のお小遣いを所持し、希望があれば使用してもらっている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本院自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	郵便物、小包等の受け渡しや、電話連絡等、必要に応じた支援を行っている。		
52	19	○居心地のよい共有空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	四季を意識したディスプレイをホーム内に絶やさず、玄関・フロア内に花や植物を配置し、心地良い空間づくりに心掛けている。	玄関を入るとリビング兼台所があります。リビングは、天井が高く、窓からの採光も明るく開放的な空間です。ガラス窓から園庭や田畑を眺めることができます。最近の水田に住むカルガモの親子を眺めることが利用者の楽しみになっています。リビングの広い壁面は、利用者と共に作成した折り紙の作品を飾り、季節感を表現できるように工夫しています。食堂の椅子や洗面所に置いてあるコップには、利用者の希望により名前を貼っています。自立度の高い利用者が多く、名前を貼ることで、持ち物や場所などが確認でき、自立に繋がっています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホーム内ソファではTVを観たり、テーブル席での談話や作品制作、書き物等、自由に過ごしてもらえる様、配慮している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室中の家具はカーテン、照明器具以外はすべて本人の持ち込みとなっている。 自宅にて使用していた馴染みのある物を、配置する事で、環境の変化における不安感を最小に留められる様配慮している。	カーテン、照明器具はホームの備品ですが、それ以外の持ち込みは自由です。ベッドや机、タンスなど、可能な範囲で馴染みの物を持ち込んでいます。居室には、手づくりの作品、写真や植木などを飾り、思い思いに自分の部屋作りを楽しんでいます。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内に職員、入居者全員の写真を貼っており、日々の役割分担表や毎日の献立表も掲示している。		